

平成31年度 秋田県立大館鳳鳴高等学校 3学年地理歴史科シラバス

地 理 B

I 学習の到達目標

1. 自然環境、資源・産業、都市・村落、生活文化等の事象を通して現代世界の特色を系統地理的に考察する。
2. 現代世界を地域(市町村規模、国家規模、州・大陸規模)のスケールをふまえながら地誌的に考察する。
3. 現代世界の諸課題(国家間、日本の近隣諸国、環境・エネルギー問題、人口・食料問題、居住・都市問題、民族・領土問題)の現状と背景を理解し、解決策を探る。
4. 地理という科目が世界をとらえるうえで重要であることを理解するとともに、世界の諸問題に対して考え自分の意見を言える力を身に付ける。

使用教科書・副教材等：新詳地理B(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)、2018地理統計要覧(二宮)、新編地理資料2018(とうほう)

月	学 習 内 容	学習のねらい(目標)
4	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 Ⅱ-2-7 世界を結ぶ交通・通信 Ⅱ-2-8 現代世界の貿易と経済圏	世界の交通・情報通信・貿易・商業・観光を取り上げて、それぞれの特色と動向、形成要因に関して考察し、基礎的・基本的知識を習得させる。それぞれの課題に関して世界的視野に留意して考察する。
5	Ⅱ-3 人口、村落・都市 Ⅱ-3-1 世界の人口 Ⅱ-3-2 人口問題 Ⅱ-3-3 村落と都市	世界の人口分布、人口増加・人口構成に関する動向を取り上げて、形成要因に関して考察し、基礎的・基本的知識を習得する。世界の人口増加地域と減少地域の人口問題を比較しながら、日本の人口問題とも関連させて考察する。様々な規模の集落があることを理解し、村落の立地と形態、都市の発達と変容に関して考察して、村落・都市に関する基礎的・基本的知識を習得する。
6	Ⅱ-3-4 都市・居住問題 Ⅱ-4 生活文化、民族・宗教 Ⅱ-4-1 世界の衣食住 【前期中間考査】	世界と日本の居住・都市問題の地域性や形成要因について世界的視野に留意して考察する。地形図から村落形態を読み取る地理的技能を習得する。 世界の衣食住を取り上げ、それらの分布と特色を理解し、地域性との関連を考察して、基礎的・基本的知識を習得する。
7	Ⅱ-4-2 民族と宗教 Ⅱ-4-3 現代世界の国家 Ⅱ-3-4 民族・領土問題	世界の言語と宗教の分布を理解し、言語・宗教と社会との関連を考察して、基礎的・基本的知識を習得する。民族と国家との関連を理解し、基礎的・基本的知識を習得する。世界的にみた民族と国家との多様性や日本の領土問題について考察し、国家群や国連の役割を理解する。
8	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 Ⅲ-1-1 現代世界の地域区分	地域の規模に応じて地域性を多面的・多角的に理解し、現代世界を構成する各地域は多様な特色を持っていることを理解するとともに、世界諸地域を規模に応じて地誌的にとらえる視点や方法を身に付ける。
9	Ⅲ-2-2 東アジア Ⅲ-2-3 東南アジア Ⅲ-2-4 南アジア 【前期期末考査】	国家規模の大国としての中国について「発展する大国」に着目し、それと歴史的背景や工業、貿易、農業、人口、環境問題とを結びつけて地域の特色と地球的課題を考察・理解し、基礎的・基本的知識を習得する。 隣国としての韓国について「近隣諸国との関連」に着目し、それと歴史的背景や文化の特色、経済の著しい発展、人口と食料・資源確保の課題とを結びつけて地域の特色と地球的課題を考察・理解し、基礎的・基本的知識を習得する。 国家よりも大きく州よりも小さい規模の東南アジアを、歴史的背景や民族、自然、農業、工業、都市問題という項目ごとに整理して地域の特色と地球的課題を考察・理解し、基礎的・基本的知識を習得する。 国家規模の大国としてのインドについて「巨大な人口」に着目し、それと歴史的背景や自然、農業、工業、生活、居住・都市問題と貧困と結びつけて地域の特色と地球的課題を考察・理解して、基礎的・基本的知識を習得する。
10	Ⅲ-2-5 西アジアと中央アジア Ⅲ-2-6 北アフリカとサハラ以南のアフリカ Ⅲ-2-7 ヨーロッパ Ⅲ-2-8 ロシア	アジアの中の2地域である西アジア・中央アジアを、位置と歴史的背景、自然環境、農牧業、鉱工業とサービス業、イスラム教と人々の生活といった項目ごとに整理して地域の特色と地球的課題を考察・理解して、基礎的・基本的知識を習得する。 大陸規模の地域としてのアフリカを、歴史的背景、自然、農牧業、鉱工業、紛争、人口急増と食料問題という項目ごとに整理して地域の特色と地球的課題を考察・理解し、基礎的・基本的知識を習得する。 ヨーロッパにおける国家の集合体としてのEUについて「地域の統合」に着目し、それと歴史的背景、自然、産業、言語・宗教、都市と交通、地域変化、高齢化社会への対応と結びつけて地域の特色と地球的課題を考察・理解して、基礎的・基本的知識を習得する。 国家規模の大国としてのロシアについて「体制転換後の社会と経済」に着目し、それと歴史的背景や産業、自然、世界との結びつき、環境問題を結びつけて地域の特色と地球的課題を考察・理解し、基礎的・基本的知識を習得する。
11	Ⅲ-2-9 アングロアメリカ Ⅲ-2-10 ラテンアメリカ Ⅲ-2-11 オセアニア 【後期中間考査】	国家規模の大国としてのアメリカを、歴史的背景、自然、農業、鉱工業、住民、都市化、世界との結びつき、居住・都市問題という項目ごとに整理して地域の特色と地球的課題を考察・理解し、基礎的・基本的知識を習得する。ラテンアメリカの中でもブラジルについて「地域開発と経済発展」に着目し、それと歴史的背景や民族、自然環境と農業、資源開発と工業、貿易、生活、国土開発と熱帯林破壊とを結びつけて地域の特色と地球的課題を考察・理解し、基礎的・基本的知識を習得する。 南半球に位置するオーストラリアと北半球に位置するカナダを、対照性をもつ二つの国家として捉え、それを歴史的背景、土地開発、土地資源の分布と利用、環境問題を比較しながら地域の特色と地球的課題を考察・理解し、基礎的・基本的知識を習得する。
12 ~ 3	センター試験対策 私大、国公立2次 試験対策	受験の実践的問題に取組み思考力を育成する。

評価方法：前・後期共通

・考査および提出物や実力テストによる総合評価。

・評価は、社会的事象への「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「資料活用の技能・表現」、「知識・理解」の4つを単元ごとに行う。「関心・意欲・態度」は、授業の様子や発問に対する返答等から、「思考・判断・表現」は、各テストや授業の様子、資料の読み取りから、「資料・活用の技能・表現」および「知識・理解」は各テストや授業の様子から総合的に評価する。